

2025 年 1 月
2024/2025 年米国コーン・アウトルック・カンファレンス
講演者略歴



佐藤秀樹、CME グループ ディレクター兼クライアントデベロプメントセールス、日本 (Hideki Sato, Director, CME Group)

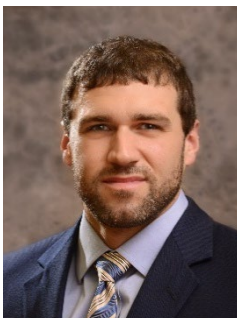
CME グループのクライアントデベロプメントセールスとして、日本のクライアントリレーション、様々なクライアントセグメントに新たな商品やサービス導入の責任を担う。

2014 年に CME グループに入社以前、一貫して外資系投資銀行で様々な上場デリバティブ営業業務に従事。最近では、クレディ・スイス証券で上場デリバティブ営業 バイスプレジデント、ニューエッジ・ジャパン証券 (現ソシエテ・ジェネラル証券) ではシニアディレクター兼日本営業部長を任務。
それ以前は、クレディ・リヨネ銀行 (現クレディ・アグリコル銀行) およびメリルリンチ日本証券 (現 BofA 証券) に勤務。中央大学で学士号を取得。



ステラ・チェン、アメリカ穀物協会 グローバルプログラム担当ディレクター (Stella Qian, Director of Global Program Administration, U.S. Grains Council)

ステラ・チェン はアメリカ穀物協会のグローバルプログラム担当ディレクターであり、エタノール市場開発のために、世界のエタノール資源の規模拡大、プログラムの実施、戦略の策定を支援している。



ディラン・ロジエ ミズーリ州トウモロコシマーチャンダイジング委員会副会長 (Dylan Rosier, Vice Chairman, Missouri Corn Merchandising Council)

ディラン・ロジエはミズーリ州の第4世代の農家である。家族とともに農業を営み、トウモロコシと大豆を栽培している。また、地元で栽培された作物から蒸留酒を製造する蒸留所も経営している。ディランは現在、ミズーリ州トウモロコシマーチャンダイジング委員会 (MCMC) とミズーリ州トウモロコシ生産者協会

(MCGA)の理事を務めている。



ポール・ギーゼルマン、アイオワ州トウモロコシ促進委員会第9地区理事 (Paul Gieselman, Board of Director – District 9, Iowa Corn Promotion Board)

ポール・ギーゼルマンはアイオワ州で28年以上農業を営み、トウモロコシ、大豆、牧草、子牛を育てている。また、農場では、被覆作物、不耕起・減耕起、緩衝帯、段々畑など、多くの保全慣行を採用している。現在、アイオワ州トウモロコシ促進委員会の理事を務め、特にトウモロコシの新しい用途に取り組んでいる。



デイビッド・ハンナ：アーガス・ジャパン ゼネラルマネージャー兼北アジア市場開発バイスプレジデント (David Hanna: General Manager of Argus Japan, Vice President of Business Development for North Asia)

東京を拠点とし、エネルギー市場の分析に25年以上の実績を持つ。イエール大学で国際関係学の修士号、コーネル大学でアジア研究の学士号を取得し、1985年から1986年まで北京外国語大学で1年間中国に交換留学。テキサス州ダラス出身。



ライアン・クーリー：アーガスグローバル農産物市場バイスプレジデント兼エコノミスト (Ryan Koory: Vice President & Economist of Agriculture Markets)

ヒューストンを拠点とし、10年以上にわたり、様々な農産物市場の分析とレポート作成の実績を持つ。主な専門分野は、家畜、バイオ燃料、酪農市場、最近では米国の有機農産物市場。計量経済モデリング、政策研究、長期シナリオ予測の分野で豊富な経験を有し、ミズーリ州立大学で経済学の学士号を取得後、ミズーリ大学コロンビア校で農業経済学の修士号を取得。